

学生海外研修報告書

鹿児島大学長 殿

【研修参加者】

所属(学部(研究科)・学年): 歯学部歯学科 4年

氏名: 梶山結衣

授業科目名	海外歯科研修プログラムIV
<p>1. 研修先での学習内容及び自身の学習成果について記載して下さい。(250～300字程度)</p> <p>研修中、インドネシア大学の系列の病院を3つ見学することができた。病院では、主に診療室での治療や手術の様子を見学した。現地の臨床実習生や研修医が、治療の様子を丁寧に説明してくださったおかげで、どのような治療が行われているかを理解することができた。この臨床現場の見学により、インドネシアが抱えている歯科事情を学ぶことができた。口腔衛生の重要性の理解定着がまだ普及されておらず、治療の中心となるのは齲蝕の治療であった。このことは、日本とインドネシアの歯科事情の違いについて知るだけでなく、今まで当たり前だと感じていた日本の治療スタイルの特徴を理解することにも繋がった。</p>	
<p>2. 現地での生活を体験して得た気づきや学びを記載して下さい。(250～300字程度)</p> <p>現地では、インドネシア料理を食べたり、モスクなどのイスラム教に関連している場所を観光したり、インドネシアの伝統的衣装を着たりした。日本ではあまりイスラム教の文化に触れる機会はないが、朝5時にアザーンというお祈りの呼びかけが聞こえたり、空港やカフェなどにお祈りの部屋が設置されているのを目にしたり、女性の服装からイスラム教の文化に触れることができた。また、研修中である8月17日はインドネシアの独立記念日であったため、あらゆるところにインドネシアの国旗を目にし、セレモニーにも参加することができた。インドネシアの歴史について知るきっかけにもなった。様々な面でインドネシアの文化に触れることができた。</p>	
<p>3. 研修前と後での自身の変化や最も成長した経験について具体的なエピソードをもとに記載して下さい。(250～300字程度)</p> <p>研修中、現地の臨床実習生と交流できたことにより、自分の今後どのような大学生活を迎えるべきかという考えが変わった。インドネシア大学の学生は、卒業するために患者さんを自ら街に出て探しに行かなければならない。その患者数にもそれぞれの科ごとにノルマが与えられている。さらに、その治療費も自分が負担しなければならない。そういった制度は鹿児島大学にはないため、非常に印象深く残った。今の自分の環境は、学習において最適な環境が整えられていることを実感し、日頃の学習に真摯に務めなければならないのだと認識することができた。</p>	
<p>4. 地域社会の発展に寄与するため、今後取り組んでいきたいこと、自身の目標について記載して下さい。(250～300字程度)</p> <p>地域社会の発展に寄与するため、まずは地域社会の歯科事情の特徴を十分に理解する必要がある。インドネシアの現地の学生は彼らの住む地域の特徴について非常によく理解していた。日頃の大学での授業から、鹿児島の特徴などを学ぶ機会があるため、十分に活用していきたい。また、今回の研修で、いろんな教授や研修医、臨床実習生と将来について話をする機会が多くあり、今後自分がどのような歯科医師になりたいかを明確にイメージすることができた。自分のベストではなく、患者さんのベストとなる医療が提供できる、日本の歯科の発展に一翼を担う存在になれるよう頑張りたい。</p>	